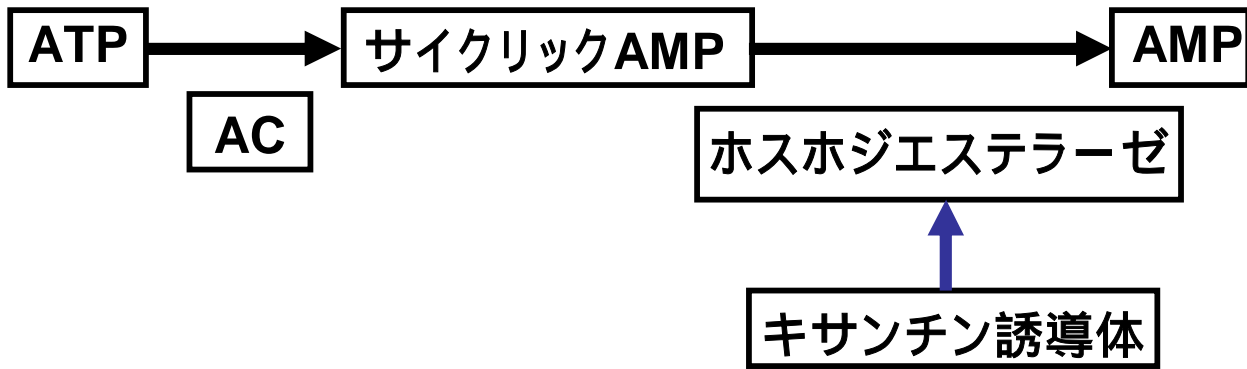


# 気管支拡張薬



→ : 抑制

AC : アデニル酸シクラーゼ

## キサンチン誘導体

ホスホジエステラーゼ阻害によりcAMPを増加し気管支平滑筋を弛緩する。(上図)

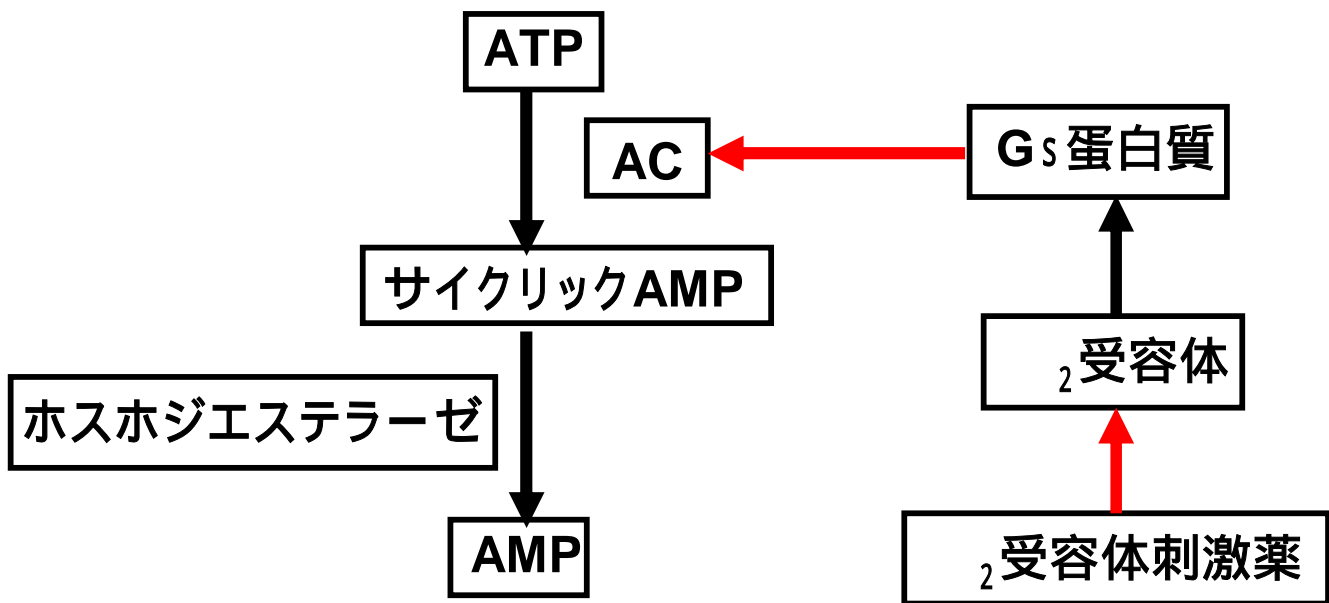
アデノシン受容体拮抗作用により気管支収縮を抑制する。  
細胞内Caイオンの減少により気管支平滑筋弛緩作用を示す。

## 代表薬

テオフィリン・・・有効血中濃度 成人8～20 μg/ml

過量投与では悪心・嘔吐、下痢、頭痛、心拍数増加、痙攣発作などがある。

アミノフィリン・・・有効血中濃度 成人8～20 μg/ml



→ : 促進      → : 抑制

AC : アデニル酸シクラーゼ

## 2 受容体刺激薬

2 受容体を刺激することによりアデニル酸シクラーゼを活性化しcAMPを増加し気管支平滑筋を弛緩する。

いろいろな剤形の薬剤がある

### 代表薬

ツロブテロール・・・錠剤、貼付薬などがある。

サルブタモール・・・吸入液、シロップ、錠剤、吸入薬がある。

短時間作用型の薬剤

サルメテロール・・・国内初長時間作用型の 2 受容体刺激薬

## 抗コリン薬

ムスカリン受容体(M<sub>3</sub>)を遮断して気管支平滑筋を弛緩する。

前立腺肥大症、緑内障の患者には禁忌

COPDでは第一選択薬のひとつ。

### 代表薬

オキシトロピウム

チオトロピウム・・・効果持続時間長い。気管支喘息の適応なし

参考資料:治療薬マニュアル2006 医学書院

処方がわかる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken

薬局 増刊号 病気と薬の説明ガイド2006 南山堂

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬剤師のための服薬指導ガイド 第2版 和田 攻 朝長 文彌 文光堂